

4月24日（月）放課後 中学生と一緒に

熊本城復旧の募金活動のためのストラップ作りをしました。

先週、松江一中と島大附中の皆さんに案内を出したところ、27人の中学生の皆さんが集まってくれました。また、本校からは生徒会の執行部以外にも、一緒に作りたいと申し出てくれた人も10人集まり、先生も参加して下さり、教室いっぱい2時間半とても楽しくストラップ作りをすることができました。中にはお姉ちゃんと一緒に来てくれた小学生や、「ちょっと協力させてください。」と言ってくださる中学生の保護者の方もおられ、一緒に作っていただきました。

16:00スタート予定でしたが、予定よりも30分くらい早く来てくれる中学生のみなさんもいました。材料を準備し、執行部が作り方を教えて、作業開始です。

作り始めると、みんな楽しそうで、いろいろな話をしながらどんどん作ってくれました。中学生の皆さんと北高生も一緒に作業をしながら、話が盛り上がっていました。

最後に、できたストラップの数を数えて

「約700個です！」

と発表すると、みんな拍手をし、歓声が上がりました。

せっかく作ってくれたので、記念に1つずつ作ったストラップを持って帰ってもらうことにしましたが、さっそくカバンなどにつけてくれた人もおられました。

みなさん、ご協力ありがとうございました。

このストラップを持って、今週末29日（土）と30日（日）に松江城で募金活動をしてきます。29日（土）は10:30から本校吹奏楽部のみなさんが演奏に来てくださることにもなっています。

熊本の震災から1年経ちましたが、熊本の方のためにも1日も早く熊本城が元の姿に戻るように、これからも私たちにできることをしていきましょう。

【これまでの経緯】

昨年4月14日に熊本地震が発生し、熊本は大きな被害を受けました。私たち生徒会はこの地震で甚大な被害を受けた熊本城の修復を支援するための募金活動をしてきました。

本校は松江城の近くにあり、登下校はもちろん校舎からも松江城を見ることができます。多くの生徒にとって松江城は幼いころから慣れ親しんだ場所で、松江城はとても大切な存在で、地元の誇りです。

熊本の人にとっての熊本城も同じだと思いました。被災された方のために何か力になりたいと考えたときに、1日も早く元の熊本城に戻すことこそが、熊本の人に元気を取り戻してもらうことにつながると思い、私たちにできることを考えました。

〔活動内容〕

熊本城の復旧のための募金活動を松江城で行い、全校生徒で作ったしじみの殻を使ったストラップを、募金をしてくださった方にお渡しして感謝の気持ちを伝えることにしました。

ストラップ作り

全校に呼びかけて持ち寄った古着や余り布、紐、子供のころに使っていたビーズを集め、しじみは地元の実道湖の名産なので近隣の料理店やホテルでお客様に出したしじみ汁の殻を集めました。しじみの殻を匂いが無くなるまで洗剤で洗い、材料の布や紐、ボンドやはさみ、作り方の書いた紙などを準備し、放課後の空き教室に時間のある生徒や先生方が集まり、1つ1つ心を込めて作りました。

募金活動

休日を利用して、松江城の敷地内で募金活動をしました。観光に来られた方や、地域の方が募金に協力して下さいます。ストラップは、実道湖の名産のしじみで作られていることや、色とりどりでとてもかわいいこともあり、国内外の観光客の方や子どもやお年寄りにもとても喜んでもらえます。

〔皆さんの協力〕

JRC部・・・連日放課後残ってストラップの作り方を集まったみんなに教えてくれました。

美術部・・・募金活動の際に持つ看板やパネルをいくつも作成してくれました。

吹奏楽部・・・募金活動場所に楽器を持って来て「花は咲く」などを演奏してくれました。

各種委員会・・・昼休みには日替わりでそれぞれの委員が集まってストラップを作ってくれました。

近隣の料理店やホテルの方・・・しじみの殻を残飯の中から取り出して提供して下さいました。

保護者・・・材料集めや募金をしてくださいました。また、ご自宅でとてもかわいいストラップを作って持ってきて下さいました。

地域の方や北高卒業生・・・新聞やテレビニュースでこの活動を知り、学校に直接募金をしていただいたりお手紙を書いて下さいました。

双松会140周年記念式典・・・募金に協力していただきました。

〔最後に〕

熊本の方に元気になってもらうために始めた活動でしたが、呼びかけに協力してくれた方々の気持ちに触れ、私たちの心があたたかくなりました。そして、全校生徒、先生方、保護者、地域の方、観光に来られた方の思いが、被災された方に届いてほしいと願っています。



